

令和3年度 第1学期 終業式 式辞 水井雅史

梅雨明け10日は、天気が安定すると言われます。私も学生の頃、この時期を狙って、夏山登山の計画を立て、テントを入れた重いリュックを担いで、3000メートル級の夏山を縦走しました。縦走というのは、山小屋やテントに泊まりながら、山を何日も歩くことです。北アルプス、南アルプス、八ヶ岳をはじめ日本中の山々を歩きました。高山植物やライチョウと出会いながら、雲海を下に見て歩く体験は、最高でした。しかし、そんな安定した時期でさえも午後には、天気が急変します。霧に包まれるとあっという間に、周りが何も見えなくなり、恐怖が訪れます。雷さえも上からばかりではなく、下から走ってくる感じがしたのを覚えています。3日後には、東京オリンピックが開催されます。空を見上げれば、前回のオリンピックのように、青空をキャンバスに五輪のマークが描かれるのではないのでしょうか。残念ながら、学校関連観戦はなくなりましたが、アスリートの方達の活躍を心から応援したいと思っています。水泳の池江選手、バドミントンの奥原選手、桃田選手、体操の内村選手をはじめ、多くの選手の皆さんは、けがや病気と戦いながら、東京オリンピックに臨んでいます。

スポーツマンシップにのっとなって精一杯戦うアスリートの姿は、「一生懸命がかっこいいという」本校の合い言葉に通じるものがあるのではないのでしょうか。コロナ禍で下を向きがちな私達に、希望をあたえてくれると信じています。

さて、今日は第1学期の終業式です。今日、担任の先生から渡される通知表は、皆さんの1学期の頑張りの記録です。うまくいったこともあれば、そうでなかったこともあるでしょう。良かったことをまず考えて、自分を褒めてあげてください。辛い思いもしたし、いやな思いもしたかもしれないけれど、今日まで頑張れた自分を褒めてあげてください。

私は、皆さんはとてよく頑張ったと思います。今こうして、きちんと並んで、話を聞くことができていること。これだけで素晴らしいことです。今、皆さんは、それができています。自信を持ってください。皆さんは、少し工夫をすれば、さらに大きく成長できる可能性にあふれています。私の好きな言葉の一つに、「反省とは後悔することではない、新しい生き方への転換である」という言葉があります。通知表を見ながら、是非、新しい自分を作る方法を考えてみてください。

よく夏休みは長いので、計画的に過ごしましょう。と言いますが、なかなか計画通りにいかないものです。それでも、目標や計画を立てることは大切だと思います。私もいつも反省ばかりです。そんなときに、私が中学時代に読んだ本の中で今でも思い出す言葉があります。それは、『次郎物語』に出てくる、「無計画の計画」と言う言葉です。40年近く経った今でも覚えているのですから、すごいことだと思いませんか？この夏休みにもう一度読み返してしてみようと思っています。皆さんも、今年の夏は、良い本をたくさん読んで下さい。もしかすると感性豊かな皆さんです。何か良い心に残る言葉に出会うことがあるかもしれません。

最後になりますが、皆さんにお願いしたいことは、2つあります。一つは、これだけはやったといえる夏休みにしてほしいことです。もう一つは、9月1日の始業式に、元気にここにもどってきてほしいことです。どうか、すべての生徒の皆さんと先生方にとって良き夏休みとなることを心から祈って終業式のお話を終わります。